

夜間に発生した大規模地震の人工衛星を利用した被害域の早期推定システムの開発応用
衛星リモートセンシングによる夜間観測データと緊急地震速報の利用による
自動駆動型早期被害域推定システムの開発
株式会社ビジョンテック / 原 政直

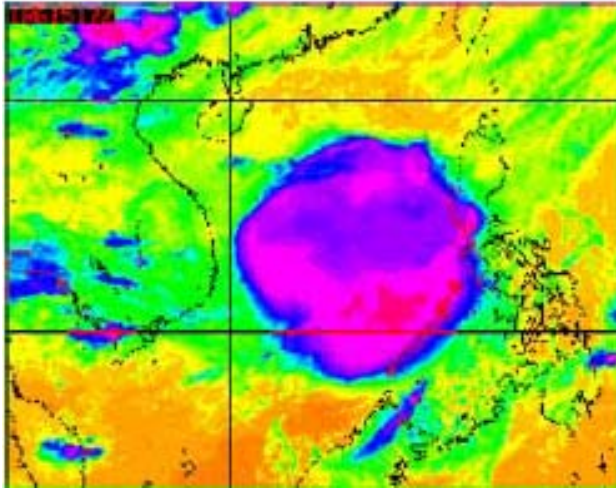
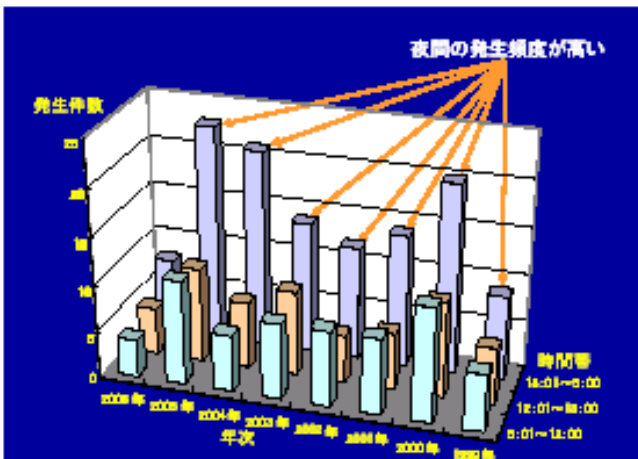


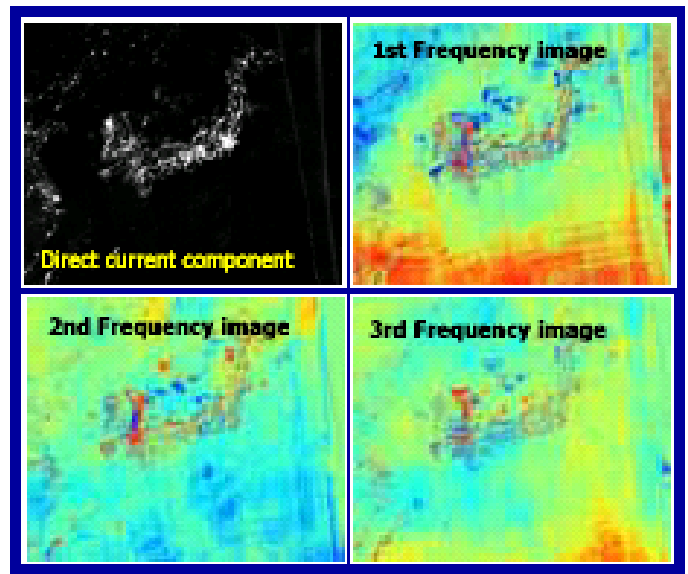
写真 2-a ひまわり 4 号で観測された
ピナツボ山の噴火活動（赤外画像）



写真 2-b モモ 1 号で観測された
ピナツボ山の噴火活動(可視画像)



第 3 図 1999-2006 年における震度 4 以上の地震
の年次別時間帯別発生頻度
(出展:総務省消防庁災害情報一覧)



第 4 図 NRF で抽出された直流成分と
第 1～第 3 次成分の画像

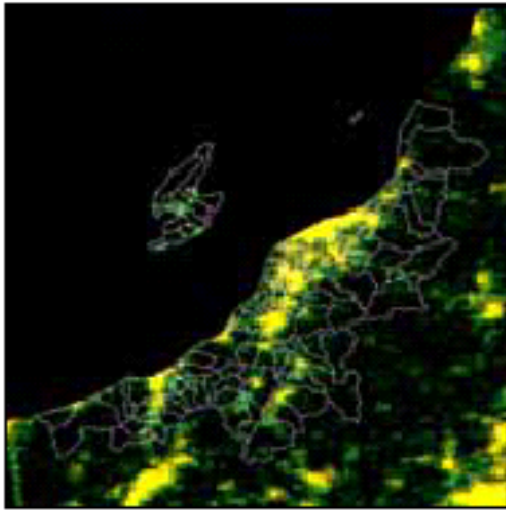


写真6 震災前の光分布(NRF処理)
(定常光画像)

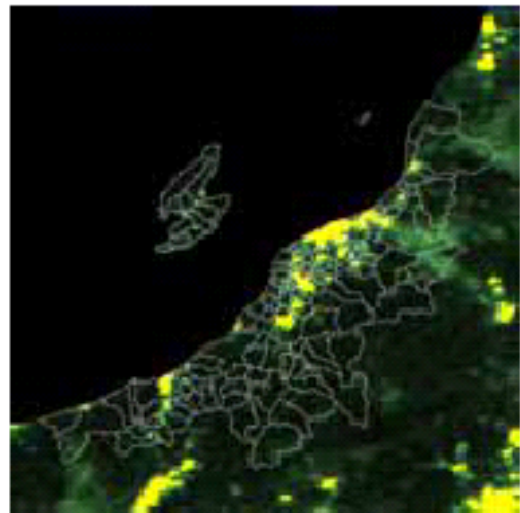


写真7 震災後(20:31±)の光分布(NRF処理)
(定常光に対し光の焼失がある)



写真8 中越地震発災前後の光分布



第4図 地上にマッピングした光分布
(縮尺:1/200k)



写真9 高分解画像で見る停電域



第5図 写真9と同じ領域の地形図
(縮尺1/25k)